

6. 教育・普及事業

■イベント・講演会 [] 内は参加数■

展覧会関連のイベント・講演会については各企画展を参照。

<パルコキノシタ「僕は君の心の中にいるよ」作戦>

日 時 2005 年 3 月 21 日(火・祝) 14:00~15:30 [約 25 名]
 講 師 パルコキノシタ (現代美術家・漫画家・教師)
 内 容 パルコキノシタによる岡本太郎作品や著作の「読み直し」
 を通じて、いまの芸術をとりまく社会でなにが起きている
 かを、参加者ととともに考える。
 場 所 川崎市岡本太郎美術館 ガイダンスホール
 料 金 500 円



<佐内 正史「タローワーク」>

日 時 2005 年 3 月 26 日(日) 15:00~16:00 [約 70 名]
 講 師 佐内 正史 (写真家)
 内 容 岡本太郎の作品を入れこんだ佐内正史作品のスライドショ
 ウを中心に、岡本太郎と町との関係、写真家から見る岡本
 太郎の作品などについての講演。
 場 所 川崎市岡本太郎美術館 ガイダンスホール
 料 金 500 円



■団体受け入れ■

当館では 20 人以上の団体で美術館を利用される場合、無料で岡本太郎映像の視聴や簡単な
 レクチャーを行っています。

また、学校や教育機関による団体での鑑賞学習や美術館を利用したグループ学習について
 は、利用する学校と美術館が対象年齢や学習目的に応じて共同で先生と美術館が話し合いな
 がらプログラムをつくる利用方法を行っています。

平成 17 年度 団体受け入れ実績

月	小・中学校		高校・大学		障害者施設		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	91	2	114	0	0	1	45	4	250
5	2	228	1	34	4	98	2	39	9	399
6	1	132	2	43	3	67	2	56	8	298
7	4	282	2	36	1	15	3	69	10	402
8	2	84	3	83	0	0	4	58	9	225
9	12	1,467	2	59	0	0	3	129	17	1,655
10	8	704	1	124	1	30	15	530	25	1,388
11	9	866	3	78	2	47	9	224	23	1,215
12	5	421	1	55	1	17	4	84	11	577
1	4	363	2	124	0	0	1	13	7	500
2	10	1,027	0	0	3	63	3	58	16	1,148
3	2	279	0	0	1	20	12	352	15	651
合計	60	5,944	19	750	16	357	59	1,657	154	8,708

■教育普及プログラム■

<職業体験>

目的 美術館の運営について体験を通して働く人間と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。

内容 <学芸員の仕事> 展覧会の企画、作品の管理、コレクション、イベントの実施など学芸業務に関する体験。
<施設管理の仕事> 館内の空調管理、施設内のセキュリティ、館内外の清掃、周辺環境の整備に関する体験。

<ミュージアムショップの仕事> ミュージアムショップのグッズ開発、販売など商品の陳列や来館者のニーズに応じた品揃えなどの体験。

<監視、受付の仕事> 受付、作品の安全を考えた監視業務など、作品を安全に管理しながら来館者に対するサービスを第一に考える対応などの体験。



平成 17 年度 職業体験実施学校

	学校名	学年	実施日	人数	内容
1	菅生中学校	2 学年	6 月 23 日	4 名	学芸員の仕事、受付監視の仕事、施設管理の仕事、ショップの仕事の体験学習
2	生田中学校	2 学年	8 月 25 日	6 名	学芸員の仕事、受付監視の仕事、施設管理の仕事、ショップの仕事の体験学習
3	県立川崎高等学校	2 学年	12 月 21 日	8 名	施設見学 「学芸員の職」についての話
4	白山中学校	1 学年	3 月 15 日 (午後) 16 日 (1 日)	4 名	1 日目 学芸員の仕事体験実習 2 日目 監視・ショップ・施設の 仕事体験実習

<大学の利用>

	大学名	実施日	人数	担当	内容
1	和光大学表現学部	4 月 16 日	84 名	佐々木秀憲	ガイダンス 展覧会の解説
2	専修大学経営学部	5 月 13 日	34 名	大杉浩司	ガイダンス 展覧会の解説
3	専修大学	6 月 14 日	23 名	佐々木秀憲	ガイダンス 展覧会の解説
4	専修大学経営学部 (内田ゼミ)	7 月 21 日	20 名	大杉浩司	事前に質問事項を提出し、当日それについて回答、その後観覧
5	玉川大学 (博物館実習生)	7 月 29 日	16 名	〃	ガイダンス 収蔵庫、バックヤードを見学
6	武蔵野美術大学 造形学部	8 月 19 日	41 名	〃	ガイダンス 収蔵庫、バックヤードを見学 アトリエで質疑応答
7	東北生活文化大学 (博物館実習生)	9 月 6 日	34 名	片岡香	ガイダンス 展覧会の解説
8	日本女子大学 人間社会学部	1 月 5 日	82 名	佐々木秀憲	展覧会の解説

■館外普及活動■

<出張授業・講演など>

	団体名・場所	実施日	人数	担当	内容
1	川崎市小学校実技研修会	7月28日	10名 30名	大杉浩司	鑑賞の実技研修、岡本太郎美術館の利用法と鑑賞の仕方(2回)
2	生田中学校1・2年生	10月31日	250名	〃	岡本太郎と日本文化
3	福島県立美術館 「岡本太郎展」	11月5日	40名	〃	展覧会会場でのギャラリートーク
4	大阪高島屋 「タイムスリップ大阪展」	1月5日	50名 60名	〃	展覧会会場でのギャラリートーク(2回)

<多摩区役所への岡本太郎作品設置>

期 間 平成 17 年 10 月 30 日より 3 年間

目 的 川崎市市政 50 周年の事業として、多摩区町会連合会からの多摩区役所内への岡本太郎作品の設置要請により「月の顔」を設置。美術館が所在する多摩区の中核である多摩区役所に岡本太郎作品を設置し、太郎の芸術性を広く市民に紹介すると共に、美術館の存在と事業をアピールする。

設置作品 《月の顔》 彫刻 制作年：1981 年
サイズ(mm)：H2300/W2000/D2000
材質：FRP（繊維強化プラスチック）



<岡本太郎美術館スタンプラリー>

期 間 平成 16 年 3 月 13 日～より開始

認定者数 69 名[2006 年 3 月 31 日現在]

内 容 市内や都内近郊にある岡本太郎作品を所蔵する施設の作品や情報を掲載。各施設のスタンプをすべて集めることにより、美術館からスタンプラリー認定証と、川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館、川崎市市民ミュージアムの招待券(各 2 枚)を贈る。

<作品・スタンプの設置場所>

- ・川崎市岡本太郎美術館
- ・岡本太郎記念館
- ・川崎市立藤崎小学校
- ・川崎市役所第三庁舎 1 階ロビー
- ・等々力アリーナ



- ・川崎市市民ミュージアム
- ・高津市民館
- ・神奈川県立向の岡工業高校
- ・大山街道ふるさと館（スタンプのみ設置）

<作品のみ設置場所>

- ・入江崎スラッジセンター
- ・二子神社境内 岡本かの子文学碑

■教材開発と利用■

<教材用ビデオ「岡本太郎の芸術」>

規格 「岡本太郎芸術を語る」(VHS 29分50秒)の短縮版・再編集 17分
 用途 学校、教育施設に貸与し、岡本太郎芸術の普及教材として使用する。

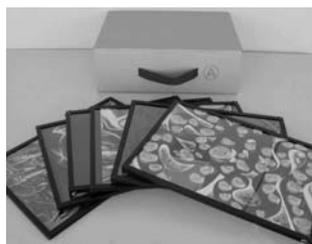


ビデオ

<岡本太郎作品 大判プリント>



ラミネート加工
42.5×30.4(cm)



フレーム入り
42.5×30.0(cm)

<子ども用パンフレット>

小中学生向けに岡本太郎の作品を年代順に紹介し、岡本一平・かの子について、川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載している。裏面は切り取って使用できるハガキになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることができる。

美術館に寄せられた子どもからの葉書[平成 17 年度]

(葉書は美術館ギャラリーにて閲覧可能)

小学校	12校 (683通)
中学校	2校 (112通)
個人 (幼児・児童・生徒)	3通



<岡本太郎作品カード (新規教材)>

岡本太郎美術館の普及用教材として館主催の事業に活用する。また、市内を主とする教育施設に作品写真カードを貸し出し、鑑賞教育の教材としての活用も行なう。

規格 サイズ 12 × 18 (cm)
 プリント 高画質デジタルプリント出力
 点数 1セット 24 作品を 80 セット

作品名 油彩=空間、傷ましき腕、夜、重工業、森の掟、海辺の肖像、マラソン
 彫刻=午後の日、誇り、犬の植木鉢、若い時計台、樹人、太陽の塔、ひらく肖像、子供の樹、光る彫刻、顔
 版画=眼、夢、
 レリーフ=マスク
 インダストリアル=顔のグラス、坐ることを拒否する椅子、夢の鳥



貸出件数[平成 17 年度]

	小学校	中学校	高校	研究会など	その他	計
ビデオテープ	43 校	3 校	2 校	1 回	7 回	56
ラミネート加工プリント	19 校	1 校	0 校	0 回	2 回	22
フレーム入りプリント	2 校	0 校	0 校	0 回	0 回	2

■美術館教育研究会■

第 1 回

会 期 2005 年 8 月 18 日(木) 午後 2:00~4:00

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 <17 年度普及事業報告>

美術館の利用状況

- ・利用団体、入館者数
- ・大学の利用、職業体験プログラム、館外普及活動
- ・子ども向けパンフレット、および子どもからの手紙
- ・貸出用教材の活用状況
- ・スタンプラリー実施状況

<17 年度普及事業予定>

- ・展覧会予定
- ・普及イベント
- ・教材開発

出席者 小中学校：行川博幸、寺本宏一、伊藤慶三、東川美英子、十鳥良二、平野英雄、鈴木信一郎、
 紺野清美、坂田全徳（欠席者：北村健太）

美術館：大杉浩司〔司会〕、佐藤悠子〔記録〕、和田朋子、斎藤芙美、坪内間（研修生）

第 2 回

会 期 2006 年 3 月 23 日(木) 午後 2:00～

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 <17 年度普及事業報告>

美術館の利用状況

- ・利用団体、入館者数
- ・大学の利用、職業体験プログラム、館外普及活動
- ・子ども向けパンフレット、および子どもからの手紙
- ・貸出用教材の活用状況
- ・スタンプラリー実施状況

<18 年度普及事業予定>

- ・展覧会予定
- ・普及イベント
- ・教材開発

出席者 小中学校：行川博幸、寺本宏一、伊藤慶三、平野英雄、紺野清美、坂田全徳（欠席者：北村健太、東川美英子、鈴木信一郎、十鳥良二）

美術館：大杉浩司〔司会〕、佐藤悠子〔記録〕、和田朋子、斎藤芙美、坪内間（研修生）